

Press Release(H25/12/17)

GULIP（岐阜大学長期インターンシッププログラム）最終報告会のご案内

岐阜大学では、PBL型（問題解決型）インターンシッププログラム、GULIPの最終報告会を行います。

GULIPは、企業や公共団体等から与えられた課題を、学生や大学院生がチームで取り組み、その解決案とともに考えていくPBL型（問題解決型）インターンシッププログラムです。これは、文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に昨年度採択されたものです。

夏の開講式、企業等での研修を経て中間発表会を行い、そこで指摘されたことを踏まえて活動を続けてきましたが、このたび、最終報告会を行う運びとなりました。

7つの団体とチームが、12月17日からチーム毎に最終報告会を行います。このうち、岐阜県庁商工労働部様の御厚意で、岐阜県庁チームの最終報告会を報道機関へ公開しますので取材の希望等ありましたら、下記申込先にご連絡ください。

日 時 平成25年12月26日（木）10時から12時まで

場 所 岐阜県庁6階南第2会議室

申込先 岐阜大学キャリアセンター 渡邊宛

Tel : 058-293-3393

e-mail : gjea02052@jim.gifu-u.ac.jp

備 考 GULIPについての説明をご希望の場合はGULIP担当の廣瀬特任准教授から行いますので、申し込みの際その旨お伝えください。

GULIPについて

このプログラムでは、大学院生をリーダーに学年の異なる学生7人程度で1チームを編成、企業研修を1週間程度行い、課題についての状況や問題点を把握します。その後、大学にもどってからは企業側担当者とのメール等で連絡をとり、チームで解決策を検討、中間報告、最終報告を経て、報告書の提出で終了します。このインターンシップを経験することで、参加学生は岐阜大学の提唱する専門職業人としての基盤的能力を習得します。当初、30名程度の学生を予定していましたが、募集したところ48名の学生が参加するなど学生の興味・関心も高く、岐阜県庁、岐阜大学及び企業等7団体が参加し、それぞれのテーマに取り組みました。11月にはチーム毎に中間発表を行い、出題した団体からの指摘を受け、問題解決のための検討を続けました。

今回の最終報告を行った後は、新たに指摘を受けた事項についての検討を続け、報告書にまとめて提出します（2月頃を予定）。

GULIP 岐阜県庁チームについて

GULIP 岐阜県庁チームは、岐阜大学 工学部 機械システム工学科3年の伊藤 蓮 君（20歳）をリーダーに、地域科学部、工学部、応用生物科学部の1～3年生7名で編成し、課題解決のため、岐阜大学の留学生へのインタビューや県内私立大学の留学生へのアンケートを実施し、提言をまとめてまいりました。

岐阜県庁からの課題（労働雇用課：担当 成瀬 国際戦略推進課：担当 松波）

1) 岐阜県における問題点

企業が海外展開を行うにあたってキーとなる人材（グローバル人材）が不足している問題を、行政が何らかの

形で支援するにあたって、どのような支援策を講ずることが望ましいか。

2) 外国人について

留学生は就職市場においては都市圏に集まりがちで、地方にはなかなか定着しない。地方で学ぶ留学生が、地方の企業に就職するために、どのような取り組みがなされる必要があるか。

3) 日本人について

日本人学生が、グローバルな視点で活躍するためには、どのような自己研鑽、スキルアップが必要であるか。